

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：ひびき井土ヶ谷保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：藤田 真紀子	定員（利用人数）： 70名
所在地：〒232-0051 神奈川県横浜市南区井土ヶ谷上町26-24	
TEL：045-713-3737	
ホームページ： <a href="https://www.sodachinomori.com/">https://www.sodachinomori.com/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日 平成25年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 そだちの杜		
職員数	常勤職員： 18名	非常勤職員： 24名
専門職員	栄養士 2名	中学・高等学校教諭免許 1名
	幼稚園教員免許 21名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	乳児室2室、保育室4室、調理室1室、調乳室1室、事務室1室、医務室1室（事務室を含む）、一時保育室1室、保育士休憩室1室	●0・1歳児室床暖房、0・1歳の床はコルク材でそれ以外の床は無垢のヒノキ材使用、ガスによる冷暖房 ●プールは組み立て式（夏季屋上に設置）、屋外遊技場（園庭）、屋上庭園

### ③理念・基本方針

保育理念 子ども一人ひとりを大切にし、保護者と共感しあいながら保育をすすめ、地域・社会に貢献できる保育園を目指す 保育目標 I 早寝・早起き・午前昼寝の実践 ①1日24時間の生体の生活リズムに添って、早寝、早起き、午前中の昼寝の実践をする II 基礎的なからだの動きを育てる ①楽しくからだを動かすことを大切にしながら、基礎的なからだの動きをしっかりと身につける ②造形活動などを通して、手の動きを育てる III 自己肯定感・生きる意欲を育む保育 ①大人や仲間に見守られながら“できた”喜びを積み重ね、自己肯定感を持つ ②友達や保育士と楽しく向き合い、快の情緒の中で豊かな表現力とコミュニケーション力を身につける ③行事や日常生活の中で伝統や文化を大切にし、情緒豊かな子どもを育てる ④身の回りの行事や手伝いを経験する中で、生活していく力を育てる ⑤知的好奇心や探究心・冒険心を育てながら、就学前に必要な基礎的な力を身につける IV ノーマライゼーションの理念に基づき、障がいのある子どもない子どもも、ともに楽しく暮らす ①統合保育、及び個別対応できる保育体制をつくる ②療育センター・保健センターなど各関係機関との連携 ③子育て相談（園児・地域）の実施
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

##### ●午前昼寝

園は、子育ての科学に基づき ①レム睡眠を保障し ②人が持つ生体の生活リズムに合った生活リズムを送る、③20時寝 6時起きのリズムを作るために、午前昼寝を実施しています。午前中の昼寝によって一度身体を休め疲労回復を終えてから、給食をおいしく食べます。

##### ●給食

給食は和食中心の献立となっていて、食物アレルギーで一番多い卵アレルギーの子どもも安心して食べられるよう卵を使用しない献立となっています。

##### ●ぞうり保育・布おむつ ほか

「正しい直立と直立状二足歩行の力」を獲得させるというねらいで、ぞうり保育を実施しています。0・1歳児は布オムツを使用しています。また、つむぎ体操（赤ちゃん体操）、長距離散歩、異年齢保育、統合保育、親子クッキングなどの取り組みをしています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年6月30日（契約日）～令和2年2月3日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成27年度）

#### ⑥総評

##### ◆特に評価の高い点

##### 1、子ども一人一人の育ちを大切にされた保育の実践

保育士は、子ども一人一人の言葉や表情などから子どもの思いを受け止め、子どもが自発的に園生活を楽しめるよう支援しています。乳児は、保育士との応答的な関わりの中で信頼関係を築き、自分の思いを素直に表現し、生活リズムや基本的な生活習慣を身に付けています。幼児は、発育発達に合った遊びや活動を通して友達との関係性を築き、友達と話し合いながら行事の劇の台詞、背景を作るなどしています。リズムや体操、長距離散歩等の全身を使う活動、歌や製作等の表現活動などが多くあり、子どもたちは元気いっぱい園生活を楽しんでいきます。

##### 2、保育方針への理解を深めるための取り組み

園は、保育方針に基づき午前昼寝やぞうり保育等の特色ある保育を実践しています。全職員が参加する職員会議で園長が理念、方針について説明するとともに、毎月の職員学習会、新任職員への特別学習会やOJT、クラス懇談会前の事前準備などを通し、職員が保育方針への理解を深められるようにしています。

##### 3、ノーマライゼーションに向けての取り組み

園は、保育方針に基づき、障がいのあるなしに関わらず全ての子どもがともに園生活を楽しめるように支援しています。障がい児に対しては、週1回、個別の日を設け、少人数で課題のある楽しい活動をしています。また、集団での活動の中でその子どもの課題を見つけ、担当保育士が毎日、個別の時間を設け、その時々課題を個別に丁寧に行なっています。子どもたちはその子どものありのままを受け入れ、さりげなく手助けをしたり、できたことを一緒に喜んでいたりして、共に育ち合う関係ができています。

##### ◆改善を求められる点

##### 1、中長期的な視点にたった事業計画の策定

園は、経営上の課題をある程度把握し、人材確保等の取り組みを始めていますが、それらを具体的な計画として文書化するまでには至っていません。幼児の保育料の無償化など保育を巡る環境が大きく変化している中、経営課題や解決・改善への取り組みを職員と共有し、計画的に取り組んでいく必要があります。園の特色ある保育を継続していくためにも、職員も参画して中長期的な視点にたった事業計画を策定していくことが期待されます。

## 2、人材育成計画の策定

園は、全職員対象に園内研修を行なうとともに、職員の経験や習熟度、課題に応じた外部研修を設定し、人材育成しています。ただし、階層別に期待する職員像や求められる能力、必要な研修などを明確にし、人材計画としてまとめることはしていません。職員が自分のライフプランにあわせて将来像を描けるよう、作成していくことが期待されます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

神奈川県の評価基準になってから初めて受審をしました。

多岐に渡る項目、一つ一つと向き合う中で、認可園として求められている事の範囲の広さを改めて知り、役割の重さ、責任の重さを実感しました。内容によって自信を持って「できている」と言える事とまだ弱い部分とがよくわかったので、弱い部分に関しては今後、力を入れていかなければならないと思いました。また園独自で改善しなければならない点と、法人全体で改善しなければならない点があるので、今後取り組んでいきたいと思えます。

今回の受審を通して職員全体で意見交換をしながらじっくりと話し合い、現状を見つめ直し、園の事を深く考える良い機会になりました。知らなかった事が多くある事に気づき、それを知ることができ、一人ひとりの反省や向上に繋がるきっかけにもなりました。また、一つの項目でも人によって評価が違い、新たな気づきや学びがあり、「多角的な視点を持つ」ことの良さを実感することができました。

保護者の皆様にはアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。いただいたご意見を参考に、今後今よりもっと充実した保育と運営ができるよう、地域から必要とされる保育園になれるよう、一層努力していきたいと思えます。

ひびき井土ヶ谷保育園

園長 藤田 真紀子

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり